

令和6年度（2024）



子どもリーダー研修会 報告書



八幡平市教育振興運動推進協議会

も く じ

1	研修会の <u>ダイジェスト</u>	1
	内容を短くまとめたもの 要約	
2	開催要項	2
3	参加者名簿	3
4	活動のようす	4
5	ふりかえって	13
	・参加者の感想から	
	・アンケート結果	
	・担当者から	



1 研修会のダイジェスト

☆自分を高めようとする八幡平市の子ども！

実践区	小学生	中学生	実践区	小学生	中学生	実践区	小学生	中学生
大更	17	西中 7	松野	8	松中 4	安代	6	安中 3
田頭	3		寄木	5		(田山)	4	
平笠	5		柏台	3				
平館	9	一中 4	総人数： 83人（小学生65人、中学生18人）					
寺田	5							

参加者を72名（小学生54名 中学生18名）として計画しました。計画を11名上回る希望者がありました。八幡平市には自分を高めようという思いをもつ人が多いことがわかります。

☆八幡平市の課題について、真剣に考えました！

今回のテーマは「考えよう八幡平市の今 つくろう未来」で、八幡平市のごみの量が多いことについて説明を聞き、減らす方法を考えました。この問題は大人が解決できないでいる難しい課題です。参加者は説明をしっかりと聞き、真剣に考えていました。その前向きな態度に接した講師の先生は「八幡平市の子ども達はすばらしい。八幡平市の未来は明るい！」とほめてくださいました。

☆ごみの排出量がすごく多い。分別がカギ！

八幡平市の一人1日当たりのごみの量は663グラム。岩手県の平均が514グラムです。1年間にするとその差は約54キログラムにもなります。これを減らすにはどうするか？

対策の多くは「きちんと分別すること」に関係していました。

☆出会いは不安だが、楽しい！

リーダー研修会には市内14校から集まります。初めて会う人がほとんどですから、初めは不安ですが、少しずつ慣れていきます。勇気を出して話しかけるとだんだん打ち解けていきます。不安は喜びに変わっていくことがわかりました。

☆他の人の考えを聞くことは喜び！

「ちがう意見があることがわかって、たのしかった」という感想を述べる人がたくさんいました。これこそが学びです。自分以外の意見に耳をかたむけ、すなおに受け入れることのできるみなさんの態度はすばらしい！

リーダー研修会は大成功でした！

2 開催要項

(1) 日 時 令和6年7月31日(水) 午前9時30分開始 午後2時40分終了

(2) 会 場 八幡平市西根地区市民センター

(3) 出席者 参加申し込みは、小学生65名、中学生18名 計83名
出席者は小学生62名、中学生18名 計80名

(4) 運営

指導者	盛岡教育事務所	主任社会教育主事	山本 淳
	〃	主任社会教育主事	神 崇尋
	県北青少年自然の家	主任社会教育主事	古戸 淳一
	〃	社会教育主事補	浅沼 幸直
	八幡平市市民課	環境衛生係長	工藤 晴彦

主催者 大森力男副会長
教育委員会教育総務課職員 4名(坂本、橋場、工藤(俊) 藤嶋)
バス添乗 3名(羽澤、佐々木、武田)

(5) 内 容

- ① 開会式
- ② 研修Ⅰ レクリエーション 指導者 古戸淳一 浅沼幸直
- ③ 研修Ⅱ 講座「八幡平市のごみの現状」
指導者 神崇尋 山本淳 工藤晴彦
- ④ 研修Ⅲ グループワーク 「解決策をまとめよう」
- ⑤ 研修Ⅳ 全体交流
- ⑥ ふりかえり
- ⑦ 閉会式



3 参加者名簿 ◎は中学生（リーダー）

当日出席者は小学生62人 中学生18人 合計80人 ※欠席

班	人数	メンバー	メンバー	班	人数	メンバー	メンバー
1班	5	◎ 加藤 暁大		2班	5	◎ 高橋 花埜	
		松本 莉穂	下館 瑠毅			武田 凪太	伊藤 ひなた
		畠山 直大	伊藤 遥愛			工藤 蒼生	山岸 謙真
3班	5	◎ 佐々木 史		4班	5	◎ 佐々木こころ	
		坂井愛衣菜	※石井 春瑠			渡辺 麻未	吉田 礼夢
		※松浦 結	関 新			工藤 歩由	阿部 竜馬
		橋本 彩					
5班	5	◎ 安保 祐里		6班	5	◎ 田村 侑杏	
		稲田 沙羅	高橋 美結			藤村 紗南	鈴木 快都
		泉山 龍飛	瀬野木 英汰			小田島 杏実	工藤 喜市
7班	5	◎ 小林 愛佳		8班	5	◎ 高橋 暖聖	
		田村 莉々奈	佐々木 陸			越戸 佑	伊藤 和樹
		吉田 有紀	伊藤 響絆			※森 穂実	中村 愛花李
9班	4	◎ 渡辺 鳳嘉		10班	5	◎ 工藤 美歩	
		武田 清之介	高橋 咲帆			※畑澤 知佳	加藤 勇太
		畠山 粹				照井 陽菜	小山田 来飛
11班	5	◎ 小笠原 悠真		12班	4	◎ 佐藤 寛也	
		佐々木 華	高橋 莉瑚			大巻 翔太	佐藤 彩音
		田村 光	斎藤 清凪			北口 恵梨	
13班	4	◎ 林 紘太郎		14班	4	◎ 立柳 丈	
		工藤 依子	遠藤 彪牙			工藤 匠馬	立花 世莉
		高橋 さやね				木村 ひまり	
15班	4	◎ 関 新菜		16班	4	◎ 斎藤 煌生	
		武田 明也	高橋 桜舞			高村 優李	伊藤 心峰
		中村 優雅				八幡 結衣	
17班	5	◎ 山口 瑛大		18班	4	◎ 藤原 蒼矢	
		竹田 陽飛	山崎 かおり			工藤 永登	田崎 ひまり
		古川 力空	石羽根 ひな			木元 咲陽	

4. 活動のようす

(1) 開会式

大森力男副会長 メッセージ

みなさんにとって思い出に残る研修会になることを願っています。



(2) レクリエーション



使うものは一人紙一枚。
ピンポン玉を運びます。
作戦にはリーダーシップが、
うまく運ぶにはチームワークが
必要です。

レクは 古戸淳一さん
浅沼幸直さんの指導

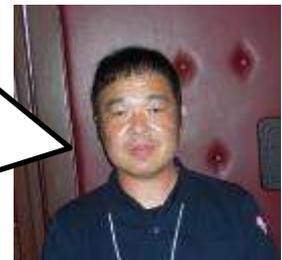
無言が条件で、誕生日順に並ぶ
ゲームにも挑戦しました。



(3) 講座



八幡平市のごみを減らしていく
ため、どのように取り組んでい
くことが必要で
しょうか？

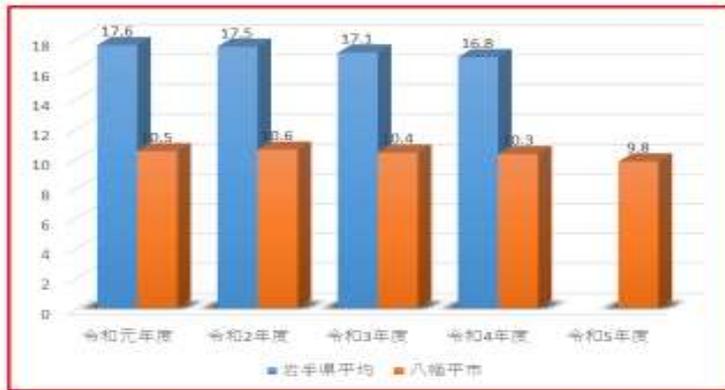


市民課環境衛生係長
工藤晴彦さん

リサイクル率（%（パーセント））

リサイクル率 = リサイクル量 ÷ ごみの総排出量

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
岩手県 ※平均	17.6%	17.5%	17.1%	16.8%	—
八幡平市	10.5%	10.6%	10.4%	10.3%	9.8%



岩手県内ランキング

令和4年度	
第1位	岩泉町 33.4% (8,357人)
第2位	田野畑村 31.1% (3,076人)
第3位	葛巻町 28.0% (5,637人)
岩手県平均 16.8% (1,193,904人)	
第31位	金ヶ崎町 11.1% (15,299人)
第32位	八幡平市 10.3% (24,114人)
第33位	奥州市 9.1% (112,129人)

※ 下段は人口

5

(4) グループワーク 解決策をまとめよう



難しい課題なのにしっかり考えている。中学生のリーダーシップと小学生のフォローアップ、どちらも素晴らしい！



進行 盛岡教育事務所 神崇尋さん

学習のポイント1. 質問によって理解を深める。

工藤係長の説明を聞いたあと、班で質問したいことを交流し、優先順位をつけました。1班から順番に聞いていきます。「リサイクル率が低いのはどうしてですか?」「市ではどんな工夫をしているのですか?」・・・鋭い質問が18班まで続きました。「ほかの班の質問がみなさんの理解を深めますよ」という神先生の声。

2. ふせんに書くことによって、自分の考えをかたちにする。

「質問したいことは?」「あなたの解決策は?」まず、自分の考えをまとめます。そして、相手に説明します。班の仲間は耳をかたむけます。

3. タブレットを生かす。

中学生には普段使っているタブレットを持ってきてもらいました。

(5) 全体交流

タブレットにテンプレート(ひな形)を入れておき、班で考えた対策をまとめ、発表に活用しました。各班の提案を紹介します。(テンプレートは加工していいことにしていたので、班によって形式は微妙にちがいます。)

1班 おもな解決方法

- ①ごみをしっかり分別
- ②必要な分だけ買う、作る
- ③生ごみはアレンジして食べる
- ④ごみはできるだけ自分の家で処理する
- ⑤自分の家でリサイクル

掘り下げたい方法は 3 番

対策の内容 (どんなことを?)

・余ったご飯を捨てずにアレンジしてごみを減らす
(へたや骨など)

伝える対象 (だれに?)

・大人

伝え方 (どんな方法で?)

・ポスターを書いて町中に掲示する

予想される質問や反論

・どうやってアレンジをすればいいのですか

質問や反論への回答

・ネットや地域の人に聞いたりする

提案名 (ネーミング)

ごみを減らそう大作戦

2班 おもな解決方法

- ①分別の徹底
- ②リサイクル
- ③食べ残しの呼びかけ
- ④資源ごみ集団回収

掘り下げたい方法は ② 番

対策の内容 (どんなことを?)

・リサイクル率の高い地域でも行われている、生ごみを集めて肥料にリサイクルし、販売する取り組み。
・分別の徹底を高める取り組みをし、リサイクル率を高める。

伝える対象 (だれに?)

・地域の方々

伝え方 (どんな方法で?)

・ポスターを掲示する
・チラシを作成し回覧板で回す。

予想される質問や反論

・リサイクルがめんどくさい!

質問や反論への回答

・これからの八幡平市のためにみんなで一緒に頑張りましょう!とよびかける!

提案名 (ネーミング)

リサイクルのまち八幡平市

3班 おもな解決方法

- ①事前を買うものをチェックして必要なものだけ買う
- ②ポスター作りで分別を呼びかけ
- ③いらなくなったものを他の人にあげる

掘り下げたい方法は ③番

対策の内容（どんなことを？）

市や地域で、まだ使えるけどいらなくなったものを入れる箱を設置する。

伝える対象（だれに？）

地域の人

伝え方（どんな方法で？）

ポスターやインターネットで呼びかけ。

4班 おもな解決方法

- ①分別を間違えないようにする。
- ②ゴミ箱を公共の場に必ず置く。
- ③料理の量を考える。賞味期限を考えて買う。
- ④ポスターで呼びかけをする。
- ⑤落ちているごみを拾う。

掘り下げたい方法は ①番

対策の内容（どんなことを？）

・赤と青だけでなく、種類によって色を分ける。カラフルで入れたくなるようにする。

・太字を使って分かりやすくする。

伝える対象（だれに？）

・市民課 環境衛生係 の人たち

伝え方（どんな方法で？）

・写真を撮って送る。（見本）

提案名（ネーミング）

楽しくポイポイごみ減少

5班 おもな解決方法

- ①市が分かりやすいごみの分別書を市民に渡す。
- ②いろいろな種類のごみを資源として回収する。
- ③ゴミが落ちていたら自分から拾う。
- ④給食を残さず食べる。

掘り下げたい方法は ①番

対策の内容（どんなことを？）

・市役所の人に分かりやすいごみの分別書をつくってもらい市民に無償で渡してもらう。

伝える対象（だれに？）

・大人(市役所の人)

伝え方（どんな方法で？）

・直接伝える

7班 おもな解決方法

- ①物は使う分だけ買う
- ②しっかり分別する
- ③自分でリサイクルできるものは自分でやる
- ④ごみを減らす呼びかけを行う
- ⑤ごみについて学習する機会を増やす

掘り下げたい方法は1番
食品ロスをなくす

対策の内容（どんなことを？）

・赤いかごや青いかごを配る

・リユース、リデュース、リサイクルを心がける

伝える対象（だれに？）

・各家庭

伝え方（どんな方法で？）

・チラシ ・手紙 ・呼びかけ

6班 おもな解決方法

- ①ご飯を残さず食べる
- ②食べ残しが出ないようにシェアをする
- ③食べれる分を考えてから買う
- ④賞味期限や消費期限が近いものから食べる

掘り下げたい方法は①②番

対策の内容（どんなことを？）

- ・食品ロスをなくす

伝える対象（だれに？）

- ・小・中学生

伝え方（どんな方法で？）

- ・全校集会などで伝える
- ・ポスターの掲示

予想される質問や反論

- ・小・中学生だけでは食品ロスが減らないのではないか

質問や反論への回答

- ・小・中学生が家族に伝える

提案名（ネーミング）

伝えて減らす食品ロス



9班 おもな解決方法

- ①生ごみを燃やすだけでなく肥料などにしていく
- ②分別のわかりやすい紙を配る
- ③ゴミの種類によってリサイクルにする
- ④燃えるごみの中でも分別する

掘り下げたい方法は ①番

対策の内容（どんなことを？）

- ・場所、日にちを決めて呼びかける
- ・そのゴミだけを集める日を作る

伝える対象（だれに？）

- ・家の大人、農家の人

伝え方（どんな方法で？）

- ・家ごとに紙を配る
- 人が集まる所にポスターをはる

予想される質問や反論

- ・肥料をどこで誰が作り、提供するのか販売するのか

質問や反論への回答

- ・施設を作る 販売するが定価の半分ぐらいの値段にしていく

提案名（ネーミング）

生ごみ肥料化プロジェクト

8班 おもな解決方法

- ①食べ残しを減らす
- ②リサイクルをする
- ③物を買すぎない
- ④ポイ捨てをしない

掘り下げたい方法は ② 番

対策の内容（どんなことを？）

・ごみを分別して、少しでもリサイクル量を増やす。

伝える対象（だれに？）

・地域の人

伝え方（どんな方法で？）

・ポスターを貼って伝える
・呼びかけをする

11班 おもな解決方法

- ①ゴミ問題に対する
人々の意識を高める
- ②地域で協力して
ゴミを減らす

掘り下げたい方法は ① 番

対策の内容（どんなことを？）

・分別をしっかりする
・3Rを心がける
・自ら進んでゴミを拾う
・食べ残しを減らす

伝える対象（だれに？）

・地域の方々

伝え方（どんな方法で？）

・ポスター ・できる人で呼びかけ
・放送

おもな解決方法

10班

- 1 資源ごみ回収量を増やす。
- 2 リサイクルをたくさんしていく。
- 3 八幡平市の現状を知る。

資源ごみ回収量を増やしたい！

①何が資源ごみとなるのかを八幡平市のみんなに知らせる。

→小学生や中学生が作るポスター、インターネット、回覧板を活用する。

②資源ごみの回収場所を増やす。

→スーパーやコンビニ、集会所で回収。
学校でも回収場所を作って回収する。

提案名（ネーミング）

資源ごみ回収プロジェクト

12班

おもな解決方法

- ①買い物をする時は要らない物を買すぎない
- ②服などの次も使えるものは年下の子にあげるか古着ボックスに入れる
- ③コンポストを使って土に返す
- ④廃品回収には積極的に協力する
- ⑤ごみについての学習をする機会を増やす

掘り下げたい方法は③番

コンポストを使って土に返す。

対策の内容

・家庭内で出た生ごみをコンポストがある家庭では、コンポストを使い、土に返して生ごみの排出量を減らす。

伝える対象

・各家庭

伝え方

・ごみの学習の機会を増やす。

13班

おもな解決方法

- ①食べ残しを減らす
- ②呼びかけをする
- ③ポスターを貼る

掘り下げたい方法は ①番

対策の内容（どんなことを？）

- ・必要なものだけを買う
- ・食べ残してしまったものは保存をする

伝える対象（だれに？）

- ・家族

伝え方（どんな方法で？）

- ・買い物に行くとき
- ・冷蔵庫に紙などを貼っておく

予想される質問や反論

- ・冷蔵庫に保存したままにってしまう

質問や反論への回答

- ・なるべく早く消費する

提案名（ネーミング）

なし

14班

おもな解決方法

- ①ごみの分別をはっきり行う
- ②雑紙類を資源ごみにする
- ③まだ使えるものは使い切る
- ④リサイクルできるものはする

掘り下げたい方法は①番

対策の内容（どんなことを？）

- ・ごみを決まった日に出す
- ごみの種類を見極めて出す

伝える対象（だれに？）

- ・家族

伝え方（どんな方法で？）

- ・一緒にやってみる

予想される質問や反論

- ・ごみの種類を見極めるには？

質問や反論への回答

- ・ごみの種類を考えて出す

提案名（ネーミング）

ごみを減らそう！プロジェクトH



15班 おもな解決方法

- ①リサイクル
- ②物を大切に使う
- ③分別

掘り下げたい方法は 2番です

対策の内容（どんなことを？）

- ・買い物時にはエコバッグを使う
- ・必要なものだけ買う
- ・この先のことを考えて買い物する

伝える対象（だれに？）

- ・家族、地域の人

伝え方（どんな方法で？）

- ・ポスターやチラシ掲示や配布

17班

おもな解決方法

- ①ゴミの分別をする
- ②無駄なものは買わない
- ③リサイクルをする

掘り下げたい方法は ②番

対策の内容（どんなことを？）

- ・コンビニで割りばしやレジ袋をもらわない

伝える対象（だれに？）

- ・地域

伝え方（どんな方法で？）

- ・呼びかけ（アナウンス）

16班 おもな解決方法

- ①計画的に買いものをして食品ロスを減らすことをポスターで呼びかける
- ②リサイクルボックスを増やす
- ③生ごみの水気をきる

掘り下げたい方法は ①番

提案名（ネーミング）

ポスター呼びかけ大作戦

対策の内容（どんなことを？）

- ・食品ロスを減らすためにポスターで呼びかける

伝える対象（だれに？）

- ・八幡平市民

伝え方（どんな方法で？）

- ・ポスターを各学校で作り、許可を得た施設などに貼らせてもらう

18班 おもな解決方法

- ①地域のごみを無くす
- ②家庭系ごみの減少
- ③生ごみの水分と量をなくす

掘り下げたい方法は ③番

対策の内容（どんなことを？）

ご飯を残さず食べる。残ってしまったら乾かして肥料にする。生ごみをしぼり水分をなくし、燃やしやすくする。

伝える対象（だれに？）

- ・地域の人々

伝え方（どんな方法で？）

- ・ポスター ・市内放送

5 振り返って

(1) 参加者の感想から・・・みんな紹介したいけれど少しでごめんなさい。

(小学生)

- ・とても楽しかったです。お弁当のシェアがいいと思いました。八幡平市のごみが少しでもへらせるといいなと思いました。
- ・他の学校の人たちとたくさんの意見を出し合ったのが楽しかったです。みんなの考えを使って八幡平市のごみ問題をなくしてほしいです。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・「どんなことをやるんだろう」「なかよくできるかな」と思っていたけど、とってもいい学習で、お友達もできて仲良くすることができました。でも、少しむずかしかったです。中学2年生になったらまたやりたいです。
- ・たのしかった。またこういうことがあったら、ちがうテーマでもやってみたい。
- ・野球などでしか他校の子と交流がなかったけど、今日はいろんな学校のみんなと交流できて楽しかった。
- ・自分の意見を進んで言えし、班の人の意見を取り入れながら考えることができました。全体交流の時には他の人の考えを聞き、共感できる部分があったので学校生活でも他の人の意見を聞くことを大切にしたいと思いました。

(中学生)

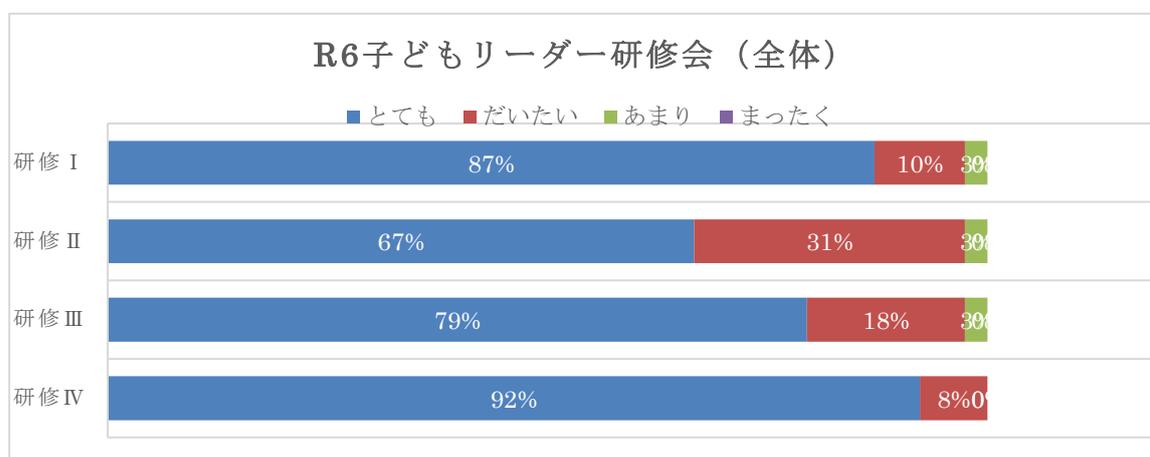
- ・小学生と交流することで面白い意見や考えを取り入れることができました。また、自分の地域の問題を深く考え、知ることができました。
- ・初めてこのような会に参加し、分からないことだらけで緊張もしていたけど、レクレーションもあり、交流していく中で自分らしく意見を出せるいい会になりました。そして、リーダー性も高めることができましたと思います。来てよかったです。
- ・班で話し合っ発表するのが楽しかった。自分にはない考えがたくさん出ておもしろかった。
- ・前は小学生としてリーダー研修会に参加したことがあったけれど、今年は中学生として参加してみても楽しかった。話し合いを進めたり意見をまとめたりするのは初対面だし難しかったけれど、小学生のみんなが協力して私のことを助けてくれたのでスムーズに進めることができた。ごみについても今日のことを家族や友達に話したい
- ・僕は周りの人に頼ってしまうことが多々あったのですが今日は頼れる側になり、最初は少しどころかすぐ戸惑ってしまいました。しかし、途中から頼ってくれていることがうれしく感じられるようになりました。
- ・他校との交流をあまりしていなかったから、リーダー研修会が新しい活動でとても楽しかった。

(2) アンケート結果 回答数（78 小学生60 中学生18）

質問紙

それぞれの研修について、あてはまる数字に○をしてください。

	とても	だいたい	あまり	まったく
研修Ⅰ レクリエーション 楽しかったですか？	4	3	2	1
研修Ⅱ 講座 理解できましたか？	4	3	2	1
研修Ⅲ グループワーク 考えがまとまりましたか？	4	3	2	1
研修Ⅳ 全体交流 学びがありましたか？	4	3	2	1



(3) 担当者から ☆感謝

その1 参加者のみなさん、夏休みのだいじな一日をリーダー研修会にあててくれてありがとうございます。

その2 講師のみなさん、5人も協力してくれる会はなかなかありません。参加者の充実感はみなさんの協力によるものです。本当にありがとうございました。

市民課工藤晴彦さんは急なお願いにもかかわらず、資料の準備のほか当日も全日程に参加していただきました。重ねて感謝申し上げます。

その3 保護者、学校、関係者のみなさん、参加者の決定から当日の準備、見送り、また当日の運営等、ご配慮に感謝いたします。



発行（2024年8月6日）

八幡平市教育振興運動推進協議会 会長 伊藤 喜代美
教育委員会教育総務課

課長	坂本 譲	課長補佐	羽澤 りち子
係長	橋場 忍	係長	佐々木 靖人
主事	武田 平	主事	工藤 俊太
		社会教育指導員	藤嶋 茂美